

まちづくり総合支援事業(小坂町古館地区)

こ さかまちふるだて

受賞機関 秋田県小坂町

はじめに

小坂町は国立公園十和田湖を有し、明治末期に最盛期を迎えた鉱山の町であるが、現在は輸入鉱山による製錬部門が稼働する鉱業と観光の町である。

明治時代の小坂鉱山の飛躍的な発展により、鉱山技術のみならず、電気・水道・鉄道・病院・劇場等当時の先進技術・文化がいち早く開花した町であり、芝居小屋「康楽館」や「旧小坂鉱山事務所」等明治の繁栄を現在に伝える歴史的建造物が数多く存在している。

町ではこれらの歴史的建造物を活かしたまちづくりの中心地として、古館地区をまちづくり総合支援事業の活用により整備することにした。

主要施設の事業概要

旧小坂鉱山事務所移築工事……高次都市施設
明治38年創建のルネッサンス風の洋館。

構造：木造三階建て、延床面積：2,598.6㎡

旧小坂 MARIA 園修復工事……地域生活基盤施設
昭和7年創建のカトリック系の洋館保育所。

構造：木造平屋建て、延床面積：371.817㎡

モニュメント工事……高質空間形成施設

歴史的建造物である旧小坂鉱山事務所及び旧小坂 MARIA 園の創建時の風景を再現。

材質：アルミニウム、規模：等身大人物像4体

総工事期間：平成9年度～平成13年度

総事業費：1,447百万円

事業の特徴

まちづくり総合支援事業の3要素事業（高次都市施設、地域生活基盤施設、高質空間形成施設）及び基幹事業（都市公園事業）を組み合わせることにより、当地区の「明治の香りのする近代化遺産を活用したまちづくり」を効果的に展開した。

具体的には、

旧小坂鉱山事務所は建築基準法第3条（適用除外）を適用させ、可能な限り創建時の姿に復原し、さらに中庭を利用してエレベーターを設置し、バリアフリー対応をした。また、旧小坂マ



旧小坂 MARIA 園



事務所を見上げる技術者夫妻

シスターと園児

モニュメント

RIA 園は、外観は創建時の姿を再現し、内部は間仕切りを変更して、ホール部分を拡大した。

「活用してこそ文化財」の精神で、旧小坂鉱山事務所は鉱山繁栄の歴史展示、レストラン、物産コーナー等に積極的に活用し、文化財の保存と再生を図った。また、旧小坂 MARIA 園は拡大した多目的ホールを広く町民一般に開放した。旧小坂鉱山事務所は既設敷地に段差があったため、移築先敷地に人工地盤をつくり、その内部を解体材保管庫や厨房、機械室等に使用した。歴史的建造物にマッチしたモニュメント設置、及び都市公園事業による周辺整備により、明治の時代空間を演出した。

おわりに

いち早く昨年4月にオープンした旧小坂鉱山事務所には、既に5万人以上の入館者があり、この春に「天使館」としてオープンした旧小坂 MARIA 園や芝居小屋「康楽館」と併せ、小坂の近代化遺産を活かしたまちづくりは、町民の胸に忘れかけていた鉱山文化の誇りを広げている。